

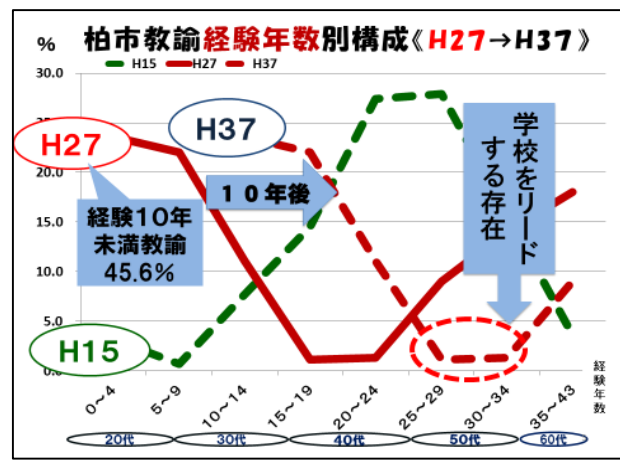
平成 31 年度 柏市教職員人材育成指針

I 人材育成指針策定の趣旨

- 社会が急激に変化し、学校教育を取り巻く課題は複雑化・高度化し、今までの経験や方法では対応しきれない状況がある。
- 教職員の大量退職・大量採用により、指導力や指導技術の継承が困難な状況がある。
教職員の人材育成を意図的・計画的なものへ転換するため「柏市教職員人材育成指針」を策定する。

II 人材育成を取り巻く現状と課題

	(1981/S56)	(2016/H27)
社 会	拡大/知識	縮小/創造
学 校 規 模	大	小
教 職 員 数	多	少
経 験 年 数	0~14	0~9/30~
年 齢	25~34	25~34/55~60
授 業 日 数	240日(週6日制) 5785/3659	200日(週5日制) 5645/3045
人 間 関 係	ストップ/会話/職員レク	エアコン/パソコン/ジム
保 護 者・地 域	応援団(支援と応援)	サポーター(支援と批判)
大 学 進 学 率	約38%	約58%
不 登 校	小 0.03% 中 0.30%	小 0.42% 中 2.83%
学 習 指 導 要 領	「ゆとりと充実」	「脱ゆとり」



意図的・計画的な人材育成が必要

- 《現状》
- ◆ 学び方の変化
 - ◆ 組織力の弱体化
 - ◆ 若年層教職員の急増
 - ◆ 主任層・管理職の若年化
 - ◆ 教育課題の複雑化・高度化
 - ◆ 教職員の多忙化・多忙感
 - ◆ 学校の小規模化
 - ◆ 知的財産の喪失
 - ◆ ミドルリーダーの不在
 - ◆ 同僚性の希薄化
 - ◆ 人材育成方針の学校差
 - ◆ 研修時間の確保の困難

- 《課題》
- ◇ 「新たな学び」への対応
 - ◇ 各職層に応じた資質能力の向上
 - ◇ 同僚性の強化と経験知の継承
 - ◇ 学校組織マネジメント力の強化
 - ◇ 目指す教職員像の共通認識
 - ◇ 効果的・効率的な人材育成の推進
 - ◇ 教職員のメンタルヘルス

III これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について (中教審の答申)

これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について (中教審の答申抜粋 1/2)

【研修】

- 教員の学ぶ意欲は高いが多忙で時間確保が困難
- 自ら学び続けるモチベーションを維持できる環境整備が必要
- アクティブ・ラーニング型研修への転換が必要
- 初任者研修・十年経験者研修の制度や運用の見直しが必要

【全般的事項】

- 大学等と教育委員会の連携のための具体的な制度的枠組みが必要
- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等の特徴や違いを踏まえ、制度設計を進めていくことが重要
- 新たな教育課題(アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、ICTを用いた指導法、道徳、英語、特別支援教育)に対応した養成・研修が必要

これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について (中教審の答申抜粋 2/2)

- 養成・採用・研修を通じた方策 ~ 「教員は学校で育つ」ための、教員の学びを支援~
- 学び続ける教員を支える キャリアシステムの構築のための体制整備

IV 柏市の目指す教職員の姿

教育者としての愛情と使命感を持ち、相互に力量を高め合い、連携協力して課題を解決する教職員 (柏市教育振興計画より)

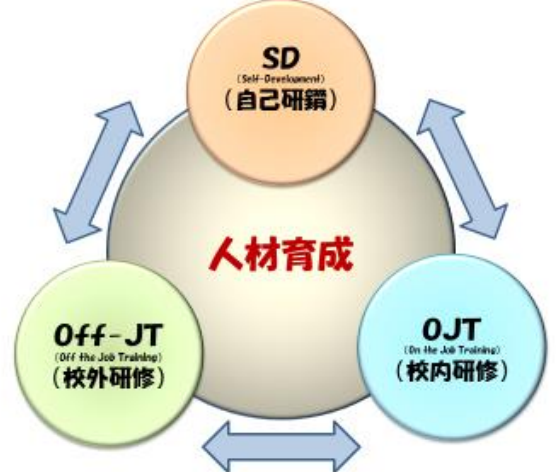
V 人材育成基本方針

- 1 「柏市教職員人材育成指針」に基づいて、効果的・効率的な人材育成を図る。
- 2 教職員のキャリアステージに応じて資質能力の向上を図る。
- 3 社会の変化に対応した「新たな学び」を支える「学び続ける教職員」の育成を図る。
- 4 「校外研修」、「校内研修」、「自己研鑽」の3つが相互に関連し合い、補完し合う体制の整備を図る。

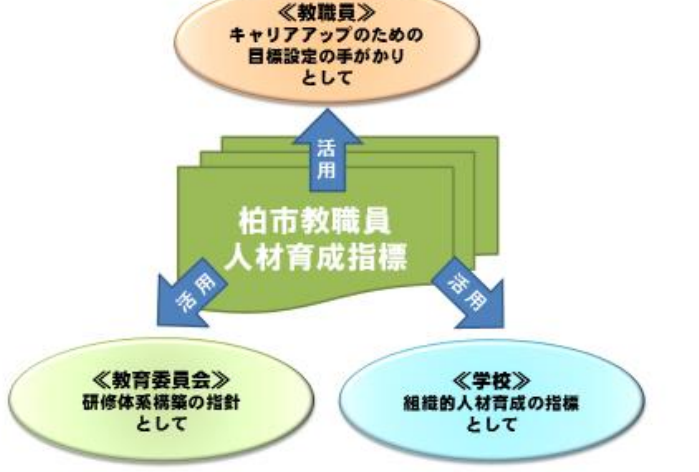
- 《これまでの人材育成》
- 柏市として
- ◆ 求める教職員像(資質能力)が不明確
 - ◆ 取り組むべき人材育成の方向性が不明瞭
 - ◆ 各学校の方針や個人の意欲に委ねて資質能力を向上
 - ◆ 先輩教職員から知識・技術を継承

- 《これからの人材育成》
- 柏市として
- ◇ 求める教職員像(資質能力)を明示
 - ◇ 意図的・計画的な人材育成の仕組みを構築
 - ◇ 「校外研修」、「校内研修」、「自己研鑽」の3つの視点から資質能力を向上
 - ◇ 教職員相互が支え合い、学び合い、高め合う環境を構築

3つの学び(育成)の場の関連



「人材育成指標」の活用



VI 教職員に求める資質能力

- 《資質》
- 教育愛
 - 使命感・責任感
 - 向上心・研修意欲
 - 同僚性
- 《能力》
- ☆ 生徒指導力(集団指導・個別指導)
 - ☆ 授業力(授業構想・授業展開・授業省察・改善・授業研究・研修)
 - ☆ 組織経営力(組織マネジメント・資源の活用・危機管理)
 - ☆ 連携・協働力(同僚との連携・協働・保護者・地域・関係機関との連携・協働)